



相思相愛

私たちは、お客さまと銀行の関係は
こうありたいと考えます。



オリックス銀行

東京都港区芝3-22-8 オリックス乾ビル 〒105-0014
TEL : 03-6722-3600(代) <http://www.orixbank.co.jp/>
(発行 : 2012年6月)



目次

P1
ごあいさつ

P2
会社概要

P3
トピックス

P5
Q&A 業績ハイライト
についてお答えします

P9
財務諸表

P10
オリックスグループ
の社会貢献活動



オリックス銀行株式会社
代表取締役社長

潮 明夫

平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

このたび、お客さまとの対話に役立てたいと考え、2012年3月期の業績やトピックスについてまとめたミニ・ディスクロージャー誌「相思相愛」を作成いたしました。

本誌を通じ、オリックス銀行について、一層のご理解をいただければ幸いです。

2012年3月期の業績

当期の日本経済は、東日本大震災の被害からの復興による持ち直しが続く一方で、海外経済の減速や急速な円高による影響などもあり、総じて横ばいの状態にありました。また、震災やタイの洪水によるサプライチェーンの寸断、円高の影響により2011年の日本の貿易収支は48年ぶりに赤字となりました。

金融面を見ると、日本銀行による金融緩和政策の継続により、短期金利は引き続き低水準で推移し、長期金利も総じて低下圧力の強い展開となりました。

今後の日本経済は、震災からの復興需要といった押し上げ要因がある一方、欧州債務問題や中東情勢の緊迫化による原油価格の高騰、円相場の変動、電力供給制約による生産への影響などの波乱要因もあるため、依然として先行き不透明な状況が続くと思われます。

このような事業環境のもと、オリックス銀行では、住宅ローン事業や法人融資事業をはじめとする当社の強みを発揮できる分野において、より質の高い金融商品・サービスの提供に努めてまいりました。

その結果、経常収益317億円(前期比2.3%増)、当期純利益52億円(前期比19.2%増)の業績を収めることができました。また、譲渡性預金を含む預金残高は1兆618億円(前期末比4.0%増)となりました。

新たなステージへ

当社は、これまで以上に幅広いお客さまに一層身近に感じていただける銀行となるよう、2011年10月1日にオリックス信託銀行から「オリックス銀行」に社名を変更いたしました。

また、お客さま一人一人のライフプランにおける資金ニーズに機動的にお応えする新商品として、2012年3月よりカードローンの発売を開始し、おかげさまで、順調なお申し込みをいただいております。

今後も、「ニッポンの銀行に、しなやかな発想を。」とのスローガンのもと、従来の銀行の常識にとらわれることなく、常にお客さまの目線に立って考え、新しい商品、サービスの創造にチャレンジしてまいります。これからも、オリックス銀行をどうぞよろしくお申し込み申し上げます。

2012年6月

(2012年4月30日現在)

商号	オリックス銀行株式会社 (ORIX Bank Corporation)
本店所在地	東京都港区芝3-22-8 オリックス乾ビル 〒105-0014
代表取締役社長	潮 明夫
設立	1993年8月23日
資本金	450億円
株主	オリックス株式会社(100%)
従業員数	512名

ウェブサイトのご案内

オリックス銀行のウェブサイトでは、最新の金利情報や各種キャンペーン情報、個人情報の取り扱い(プライバシーポリシー)やセキュリティに関する情報、決算情報などをご覧いただけます。また、各種商品・サービスのお申し込みやお取引引きを行うことができます。ぜひ、ご活用ください。



▶オリックス銀行ウェブサイト <http://www.orixbank.co.jp/>

「オリックス銀行カードローン」の取り扱いを開始しました

今年3月より、社名変更後初めての新品目として「オリックス銀行カードローン」の取り扱いを開始しました。

この商品は、下限金利を業界最低水準である年3.0%、上限金利を年17.8%、ご利用限度額を業界最高水準の最大800万円に設定しており、幅広いお客さまにご利用いただけるものとなっております。

また、カードローンの発売に伴い、今回初めてセブン銀行とのATM利用提携を実施いたしました。この提携により、お借り入れは振り込みもしくはセブン銀行ATMにて、ご返済は口座振替、振り込みもしくはセブン銀行ATMにて行うことができます。

オリックス銀行
カードローン誕生。

オリックスグループからの最新・銀行カードローンです。

ORIX BANK ORIX
0307 0012 3456 7890
TARO SUZUKI オリックス銀行

金利 年3.0%~17.8% 最高800万円

誕生キャンペーン実施中! 2012年3/1~2012年5/31まで

2012年6月末までに返済したとれどれなく
マイカードオリジナルQUOカード1000円分をプレゼント! 詳しくはWebへ。

ニッポンの銀行に、
しなやかな発想を。

オリックス銀行

http://www.orixbank.co.jp/

不動産投資ローンに『セレクトコース』を新設しました
~個人のお客さまを対象に、店頭表示金利より年1.0%金利を割引~

今年4月より、不動産投資ローン商品(「アパートローン」「投資用セカンドハウスローン」)に、新たなコースとして『セレクトコース』を設置いたしました。

『セレクトコース』は、「アパートローン」「投資用セカンドハウスローン」の要件に加え、所定の要

件を満たした個人のお客さまを対象に、お借入時点の店頭表示金利から年1.0%金利を割引いてご提供するコースです。

『セレクトコース』ご利用の場合に限り、オリックス銀行のウェブサイトから事前審査申し込みが可能です。

不動産投資ローンに お得な金利コース 誕生!

セレクトコース

3つの特長

特長1 団体信用生命保険付き 保険料不要!

特長2 保証料不要!

特長3 お引き落とし口座は自由 当社口座開設不要!

※一部お返しの出来ない借入期間があります。

Q.1

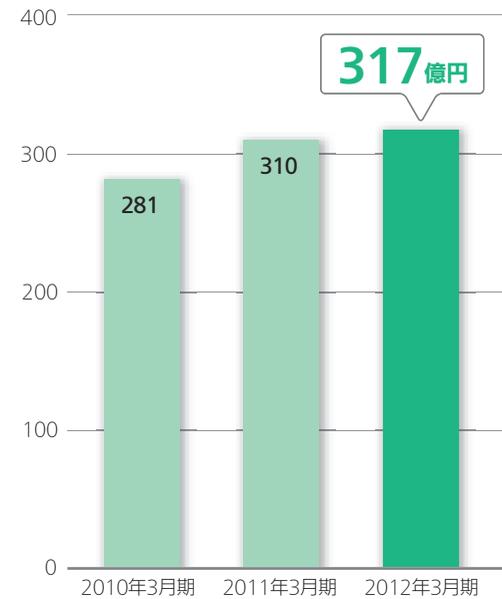
2012年3月期の業績はどうでしたか？

A

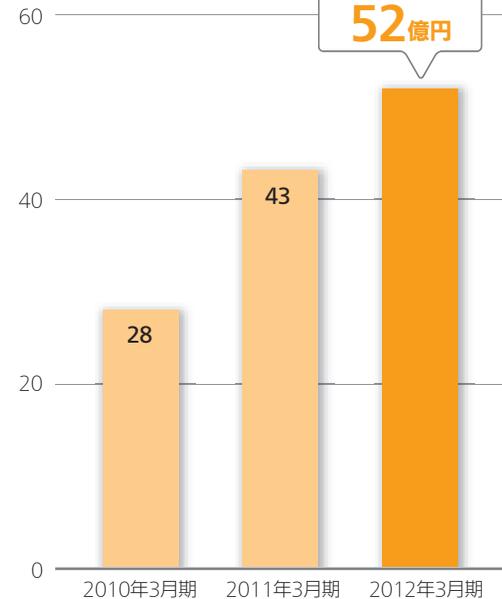
金利水準の低下と金融機関の貸出競争激化により、貸出金利回りが低下したものの、住宅ローンの推進や法人顧客基盤の拡大により残高が順調に増加したため、経常収益は317億円(前期比7億円増加)となりました。また、

信用リスク管理強化により貸倒引当金繰入額が減少した結果、経常費用は221億円(同14億円減少)となりました。この結果、経常利益は95億円(同21億円増加)、当期純利益は52億円(同8億円増加)となりました。

経常収益(売上高)の推移 (単位: 億円)



当期純利益の推移 (単位: 億円)



Q.2

預金と貸出金の状況はどうなっていますか？

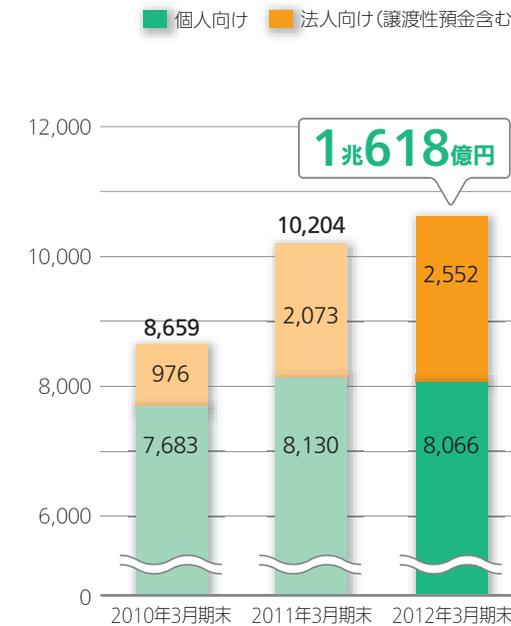
A 預金の状況

個人向けインターネット取引専用定期預金「eダイレクト預金」や法人向け預金の残高などが積み上がったことにより、期末残高は1兆618億円(前期比414億円増加)となりました。
注) 預金残高には譲渡性預金を含みます。

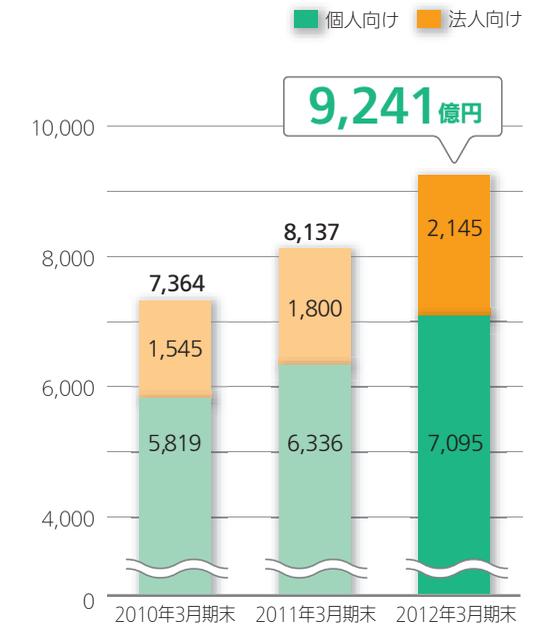
A 貸出金の状況

住宅ローンや法人向け融資が順調に伸び、期末残高は9,241億円(前期比1,103億円増加)となりました。

預金残高の推移 (単位: 億円)

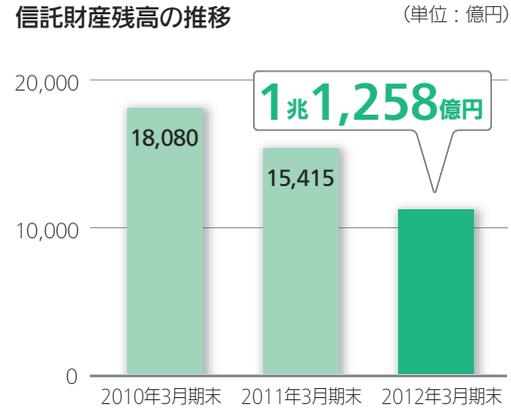


貸出金残高の推移 (単位: 億円)



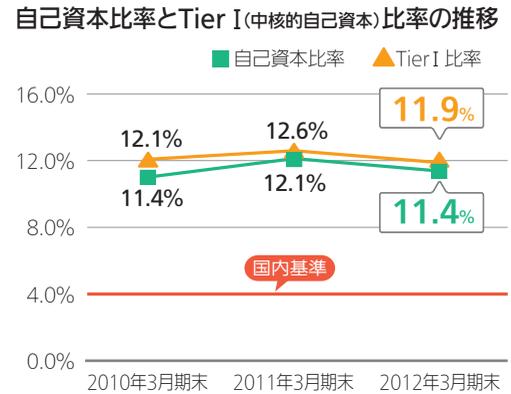
Q.3 信託業務の状況はどうなっていますか？

A 国内の流動化市場の低迷により、信託財産の期末残高は1兆1,258億円(前期比4,157億円減少)となりました。



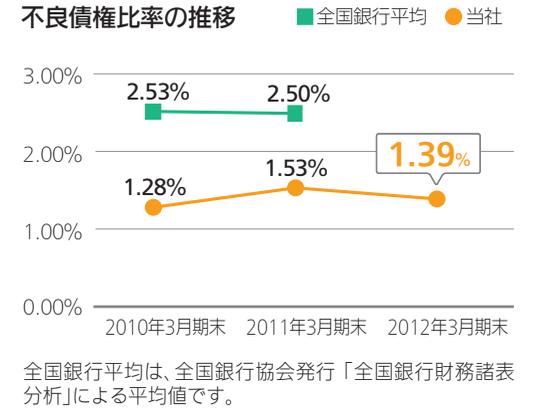
Q.4 財務の健全性はどのようになっていますか？

A 財務の健全性を示す指標のひとつである自己資本比率※は、2012年3月期末で11.4%となり、国内で業務を営む金融機関の基準(国内基準)の4.0%を大幅に上回る水準を維持しています。
 ※自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式により算出しております。



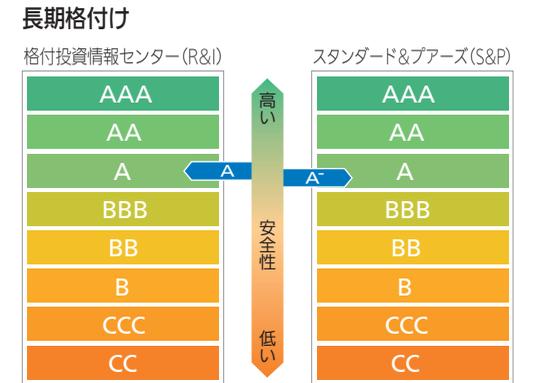
Q.5 不良債権の状況はどうなっていますか？

A 不良債権比率(リスク管理債権比率※)は、2012年3月期末で1.39%となり、引き続き低水準で推移しています。
 ※「リスク管理債権比率」とは、貸出金総額に対する銀行法に基づくリスク管理債権額の比率です。



Q.6 格付けを教えてください。

A 長期格付けについて、格付投資情報センター(R&I)より「A」、スタンダード&プアーズ(S&P)より「A」の格付けを取得しています。当社は、オリックスグループのリテールセグメントを担う重要な役割を果たしており、良好な資産内容・財務構成と、安定した収益力が格付機関に評価されています。



財務諸表

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	19,653	預金	910,640
コールローン	29,000	譲渡性預金	151,249
買入金銭債権	48,199	借入金	60,210
有価証券	230,858	信託勘定借	595
貸出金	924,120	その他負債	20,076
その他資産	2,969	賞与引当金	246
有形固定資産	4,773	退職給付引当金	5
無形固定資産	3,285	役員退職慰労引当金	0
繰延税金資産	2,687	支払承諾	1,750
支払承諾見返	1,750	負債の部合計	1,144,773
貸倒引当金	△ 7,633	(純資産の部)	
		資本金	45,000
		資本剰余金	17,803
		利益剰余金	49,881
		株主資本合計	112,684
		その他有価証券評価差額金	2,206
		評価・換算差額等合計	2,206
		純資産の部合計	114,891
資産の部合計	1,259,664	負債及び純資産の部合計	1,259,664

科目	金額	科目	金額
貸出金	61,091	特定金銭信託	2,395
有価証券	87,760	金銭信託以外の金銭の信託	200,177
信託受益権	166,839	有価証券の信託	64,925
受託有価証券	76,522	金銭債権の信託	5,191
金銭債権	490,382	包括信託	853,123
有形固定資産	146,538		
その他債権	1,547		
銀行勘定貸	595		
現金預け金	94,536		
資産合計	1,125,815	負債合計	1,125,815

注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

科目	金額
経常収益	31,739
信託報酬	900
資金運用収益	27,559
役務取引等収益	1,671
その他業務収益	371
その他経常収益	1,236
経常費用	22,149
資金調達費用	6,752
役務取引等費用	3,896
その他業務費用	12
営業経費	9,570
その他経常費用	1,917
経常利益	9,590
特別損失	11
税引前当期純利益	9,578
法人税、住民税及び事業税	4,124
法人税等調整額	213
法人税等合計	4,337
当期純利益	5,240

オリックスグループの社会貢献活動

オリックスグループは、事業活動のみでは貢献できない分野へ継続的な支援を行っています。社会的ハンディキャップをもった方たちや将来を担う子ども・青少年の健全な育成への支援、音楽・

文化芸術、スポーツ振興、環境保全、国際協力などの分野への支援活動を、公益財団法人オリックス財団やオリックス・バファローズなどを通じて積極的に取り組んでいます。

オリックス乾ビルにて、東北復興支援「未来チャリティーフェスタ」を実施

オリックス財団は、継続した東日本大震災復興支援活動の一環として、2012年3月23日、24日の2日間、岩手県・宮城県・福島県の物産展とグループ社員から寄付された品のフリーマーケットならびに募金を実施し、役職員と近隣住民の皆さま合わせて2日間で延べ約700名の方にご来場いただきました。

オリックス財団から売上と同額を、岩手県・宮城県・福島県の震災孤児・遺児基金に寄付いたしました。



未来チャリティーフェスタ、当日の様子

沖縄サンゴ礁再生・児童体験プログラムに児童養護施設の児童34名を招待

オリックス財団は、2012年1月28日、3月17日沖縄県浦添市において、サンゴ礁再生・児童体験プログラムを開催し、沖縄県下の児童養護施設6施設から児童50名を招待しました。

本プログラムは、移植するサンゴ苗作りを子どもたちに体験してもらうと同時に、沖縄の海について学び、自然環境に関する理解を深め、大切なサンゴ礁のために自らできることを体験学習することをコンセプトにしています。

今後も社員ボランティアの協力を得ながら、子どもたちが楽しく学び、体験できる場をご提供していく予定です。



参加した児童、ボランティア社員 全員での集合写真